



町長コラム 第152号

コロナ感染者が急減

ワクチン接種率の向上とともに感染者が急激に減っています。美里町の接種率は、1回目85%を超えました。10月で一度、集団接種をお休みします。今後、3回目の接種の方針が示されたら、来年になると思いますが、再開する予定です。(個別接種は、引き続き実施していますので、ご予約をお願いします。)

ところで、集団接種には毎回スタッフとして参加していますが、「町長コラムを休んでいるから、体の具合でも悪いのかと思った」と声を掛けていただきました。いつも見ていただき、ありがとうございます。理由は、ワクチン接種の記事を入れるスペースが無かったため、急遽2回ともコラムと差し替えたからです。

体調はすこぶる元気です。毎晩、我が家の老犬(17歳)と1日8,000歩になるよう倉庫内を歩いています。お陰で4kg減少し、老犬も介護にならずにいます。倉庫内はWi-Fiの電波が届くため、スマートフォンでテレビやラジオ、いろいろな人の講演を聴きながら心身共にリフレッシュしています。ある時、『危機において運気を引き寄せるリーダーの役割』というものがありました。私が町長であることで、「町の運気をあげられているだろうか」「ピンチをチャンスに変えているだろうか」…。

大リーグの大谷翔平選手が高校生の時に書いた目標達成シートの中にも『運』があり、運気を高めるために「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「審判への態度」「本を読む」「応援される人間になる」「プラス思考」「道具を大切に使う」「あいさつ」の8つが書かれています。

私も人間力を高め、町や住民の皆様の「運気」を高められるような存在でありたいと願い、未来の町を創造して歩いています。

ところで、コロナ感染者が急減し、第6波を警戒しながら、経済を進める時期になりました。

寄居スマートIC開通による企業誘致や美里町に訪れてくれる人を増やし、地元で経済が回るようにと思い、過去の美里町の事業の中でも大きな施策を進めています。

また、国が進めるマイナンバーカードの取得率を高め、地域経済の振興のため、すでに取得しているかた、これから取得するかたを対象に、地元で使える5,000円分の商品券(1人1回限り)をお渡しします。マイナンバーカードは、今後、保険証や免許証などの代わりになり、全員に持っていただくことになると思います。ご家族全員で取得していただけるよう啓発してまいります。

美里町文化財ガイドブック2  
5 初玉明神と坂上田村麻呂  
(北十条・南十条)

昔、征夷大将軍の坂上田村麻呂が、蝦夷平定のために十條村を通りがかったところ、村の付近を流れる身馴川の十丈ヶ淵に棲む大蛇が、村人たちに被害を加えていると大騒ぎをしていました。この話を聞いた田村麻呂は、所持していた珠玉を十丈ヶ淵に投げ入れました。すると、不思議にも、深い淵の水はどんどん減りはじめ、隠れていた大蛇がたちまち姿を現しました。田村麻呂は、すぐさま大蛇を退治することができたといわれています。

また、珠玉の効果については諸説あり、他の説では、淵の濁りに潜む大蛇に相対し、田村麻呂が淵に珠玉を投げ入れたところ、濁っていた淵の水が澄んだ清水に変化し、大蛇を見つけ退治できたともいわれています。

美里町の昔ばなし



初玉稲荷神社



お稲荷様  
それぞれ玉(左)と穀倉のカギ(上)を持つことから商売繁盛のご利益があるとされる

淵に投げ込まれた珠玉は、その後、空中に舞い上がり、十條の西端に落ちました。村人たちはこの珠玉を祀り、初玉明神と崇めました。

その後、稲荷様と合わせて祀られ、現在では鎮守初玉稲荷大明神として祀られています。

※ガイドブックは美里町コミュニティセンターで無料配布(1人1冊まで)です。

『読書推進事業』

美里町では、町内の子どもたちに、たくさんの本と出合える場を提供し、読書に親しんでもらうことを目的とした『読書推進事業』を令和2年度から実施しています。

この事業は、町内の保育園、幼稚園、小・中学校に紙芝居や本を定期的に貸し出すものです。

この事業をきっかけに、子どもたちがよりたくさんの本に親しみ、読書を楽しむ習慣が形成されるよう、読書の活動支援に努めています。



中学校への本の貸し出しを今年度から開始しました。図書委員の皆さんが中心となって、借りたい本の選定を森の図書館で行っています。その後、中学校まで本を持ち帰り、図書室や各教室に配置してもらいます。

図書委員の皆さんは、「自分たちが選定した本を手にとって読んでくれるのが楽しみ」と話してくれました。

また、「本は自分一人で読むだけではなく、友達と内容を共有し、その本について話し合うことも魅力の一つ」と話してくれました。

友達と話し合うことで、異なる視点から本を読むことができ、また違った本の世界を楽しむことができます。



図書館の取り組み

町内の保育園、幼稚園では、貸し出しを受けた紙芝居や絵本を利用して、読み聞かせを行っています。

園児たちは、先生が読んでくれる本に夢中です。想像を膨らませながら、本の世界に入っているようでした。

先生は読み聞かせの後に、質問や感想を聞きます。それに対し園児たちは、自分の感想をたくさん話してくれました。

本は想像力や思考力が養われ、言葉の知識も増えていきます。

自分で好きな本を見つけて、よりたくさん本を読んでもらえるようになってくれたら嬉しいです。

本の魅力を伝え、本と人をつなげたい

「森の図書館」や「読書推進事業」が、皆さんにとって本との出会いの場になるようにこれからも活動に努めていきます。皆さんも本との出会いを図書館で探してみませんか? お待ちしています。



ホームページ QRコード